

成人向け

それでも
君を愛
してゐる





彼女は我がプロダクションの人気急上昇中のアイドルだ



ああ…
良く頑張ったな

かにッシュ

またこんなになるまで
無茶したのか…

こめんなさい…

ステージの上だと
別人になれた気がして…



文香



今日もライブ
大成功だつたなー

そんな彼女にも
秘密がある

フル
フル

ご褒美…
くれないんですか？

プロデューサーさん…
私…頑張りましたよ…？

…ライブ中も
ご褒美の事考えてて

……も…こんな…

慌そ
んなに
なくていいよ

ご褒美の事
考えてて

トロオオ
まわ

ビラッ

じゅ
かり

ちゃんとしてやる
じゅるる





奥まで届いて…
子宮がゴリゴリ言つてます

ああつ
すごい一回出したのに
まだこんなに硬くて…

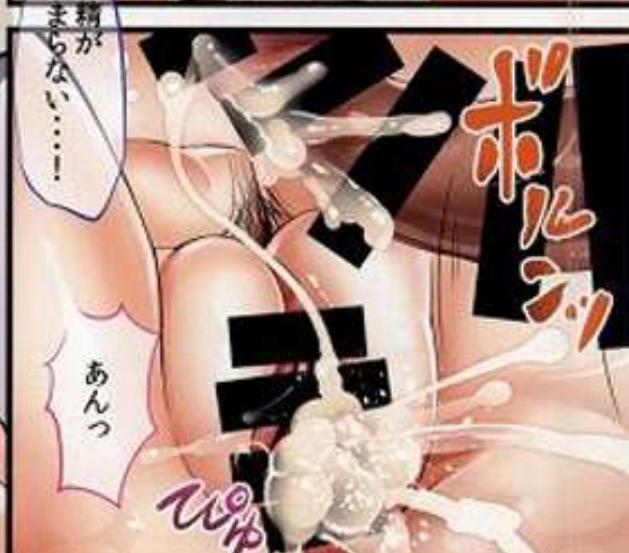
凄いぞ文香
奥までとろとろだ

もっと奥まで
しつかり突いてやる!

文香のトロトロで
きついマソコ…

やああ
言わないでください









時間は少し遡る

彼女と出合つたのは
街外れの古書店だった

古書店 鶴沢

飾り気がなく物静か
それでいて薄暗い店内を
ほのかに照らす存在感を

アイドルの原石として
十分すぎる逸材はそこにいた

ほんとだ
超可愛いじやん

な?
言つ
たと
おりだ
ろ?

嫌がつてるだろ!

その子…

あ?

いいや
こんな可
愛いんだ
から
遊ばな
きや損だ
つて

ギュッ

おい!

これだけの上玉が
手付かずでいるなんてな

すづげー何この胸!!
こんな乳揉んだことねえよ!

エニヤ

幻影※未来の鶴沢クラスター

なんだてめえは

!!!

そうして彼女は
アイドルになつた

あ、いや…
俺はその
スカウトに來ただけで

助かりました

ペコ
ペコ

最近…
あの手の罪に絡まれることが
とても多くて…

あの…
ありがとうございます

おおお
おおお

全ては順調なはずだった



こんな物が
事務所に届くまでは



アイドルになるために
枕営業させられる話とか
他にも…他にも!!

私が年下の男の子に
悪戯してた話とか

私が商店街の人たちの
慰みものにされてた話とか

今も増え続けています

私がデビューしてすぐに
こういうものがいくつも…



私は!!

そんなにいやらしいんですか

プロデューサーさんだけは

いやらしい目でしか
見て貰えないんですか!

これも
文香なのか…!?

皆私が汚れていると
思つてるのでありますか!?

私が淫乱だと!!
私が淫売だと!!
そういう目で見て

ちゃんと
見てくれていると
思つてたのに!!

そんな事……

確かめてください!!

私が汚れて
いるか：
どうか

分かつてもらえないのなら……

するつ：

文香何を…

あつ…

してるんだ

体の隅々まで!!





内
握り取られるみたいに…
やばい、気持ちよすぎて…

離れてくれ！

…嫌です

折角ひとつにな
駄目だ！

もう我慢出来ない！

出る!!

きやつ!?

クニコツ

ホタ

ホタ
ホタ

ホタ
ホタ

ホタ

ホタ

ホタホタ





気持ちよすぎで
腰が止まらない…

嫌われてるんじゃないかつて

プロデューサーさんに

今までどんなに視線を送つても
話しかけても：身体に触れても
ずっとそつけなくて…

こんなに
して貰えて
嬉しいです





見かけより大きな胸も
君のその控えめな性格も
それでいて自分の意思を
はつきりと示せる強さも

ステージの上にいるときも
そうでない時も…

その全部が好きだ!!

その青い瞳も
小さな唇も

さらさらの髪も
長いまつ毛も

まあらまあら

そんなわけあるか!!

初めて君を見たあの瞬間から
今までずっと…
文香のことが好きだ!!

ずっと好きだったさ!!



でも君は…
アイドルだ

文香!!



出る!!

學系

卷之三

ハ
セ
キ

それから俺達は
毎日身体を重ねた

俺のボロアパートで

事務所で

そう……ですが…

初めてじゃないだろ

あっ……そこはつ

これまでの2人の
隙間を埋めるように

彼女と出会った古書店で

こつちも
随分慣れてきたな…！

二人で求め合つた

彼女は歎のように
求めてきた

今晚：
私オフですから

ライブ直後は特に
積極的になり——

~~そんな日々が過ぎていつた~~



それでも
君を愛して

成人向け